

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	番組制作事業		コード	01-01-18-01
			担当課・係	有線テレビ放送制作室
			担当者	万波圭二
			電話	72-2660
事業実施期間	平成10年度～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	01 安心で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	01 生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	18 有線テレビ放送		

事業について	
目的 (何のために)	住民に各種の行政情報を提供すると共にコミュニティの形成や教育・文化の推進並びに住民の映像メディアに関する育成向上を図る。
対象 (誰・何を対象に)	日生地域及び備前地域の一部のCATV加入世帯
内容	行政・町内会・各種団体等の広報映像の制作及び提供。地域・市内・近隣の市町で行われるイベント・祭り等の情報提供。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
放送回数	353 日	353 日	
ニュース番組	499 本	468 本	
シリーズ・企画番組	39 本	34 本	
お知らせVTR版	延べ 978 回	715 回	
お知らせテロップ版	255 日	267 日	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 7,007 人件費 38,400	間接補助金等 委託費負担	直接事業費 5,489 人件費 37,145
	委託費負担	市債	委託費負担
	合計 45,407 一般財源等	45,407	合計 42,634 一般財源等
必要人員	6.00 人	5.65 人	

結果指標	結果指標名	放送回数	放送回数	
	結果指標量	353	353	
	単位	日	日	
	対前年比	—	100.00%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	44,157,000 円	41,227,000 円	
	単位当たりコスト	125,090 円	116,790 円	
	結果指標名	ニュース制作本数	ニュース制作本数	
	結果指標量	499	468	
結果指標	単位	本	本	
	対前年比	—	93.79%	0.00%
	活動にかかるコスト			
	単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	放送番組を充実させることで視聴可能区域内の加入世帯率の向上を図る。		
成果指標名	CATV加入世帯率	式又は説明	加入世帯/加入対象世帯数 (事業主：日生有線テレビ(株))
	17年度	18年度	
成果指標量	88%	88.4%	
対前年比	—	100.45%	0.00%
到達目標値	90%	到達目標年度	未定

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 備前市有線テレビ放送番組基準)	妥当性評価<A~E> B	
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識 日生地域では行政・防災・地域の情報を得る手段として定着しており、番組の更なる充実と安定的な継続が望まれる。また、備前地域、吾永地域が未整備エリアであり、情報格差が生じていて市民センター、公民館等でVHSビデオテープの貸出しや、ホームページでの圧縮動画配信に対応しているが、一般家庭において普及してきているDVDへの移行や最新情報が短期間に配信できる対応策も検討する必要がある。	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C		
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識 番組制作の経験年数が浅い職員が多いため積極的に研修会に参加し技術の向上を図る必要がある。また、民間活力の導入(番組制作の委託)を検討中であるが引き続き経費削減の方策を検討していく必要がある。	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 番組の充実を図るため職場内研修を実施することとした。	
目標値	結果指標量 354	結果指標量 510		
総合評価	番組のマンネリ化と議会放送の中止等良い番組制作ができていない。番組審議会の意見を参考に職場研修を行い企画番組等の充実を図る必要がある。また、民間活力の導入に関しては、情報格差是正のためのエリア拡大、地上デジタル放送化等の諸問題と密接な関係を持つと思われるので、第3セクター日生有線テレビ(株)の動向と併せて今後慎重に検討し対応していく必要がある。		評価区分<A~E> C	
平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性		番組制作の民間委託	平成20年度以降	経費の節減
有効性		日生有線テレビへの加入促進の協力	随時	加入世帯の増加

重点化している	<input type="checkbox"/>	休止している	<input type="checkbox"/>
前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/>	他の事業と統合している	<input type="checkbox"/>
見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/>	平成18年度で廃止・完了	<input type="checkbox"/>
事業を縮小している	<input type="checkbox"/>		
目標値	結果指標量 354	結果指標量 510	
	結果指標量 89%		

総合評価	番組のマンネリ化と議会放送の中止等良い番組制作ができていない。番組審議会の意見を参考に職場研修を行い企画番組等の充実を図る必要がある。また、民間活力の導入に関しては、情報格差是正のためのエリア拡大、地上デジタル放送化等の諸問題と密接な関係を持つと思われるので、第3セクター日生有線テレビ(株)の動向と併せて今後慎重に検討し対応していく必要がある。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性		番組制作の民間委託	平成20年度以降	経費の節減
有効性		日生有線テレビへの加入促進の協力	随時	加入世帯の増加